

チリの前大統領、国連新機関 UN Women のトップに



9月14日、国連の潘基文(パン・ギムン)事務総長は、女性のための国連機関(略称 UN Women: 正式名称 ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関 United Nations Entity for Gender Equality and the Empowerment of Women)のトップにチリのミシェル・バチエレ前大統領を任命した。UN Women は、女性の人権とグローバルな課題への完全な参画の促進をめざす世界組織のプログラムを統括するための新機関である。

予算の大幅増額を得て来年1月に運営を開始するこの新機関は、既存の4つの国連組織、女性の地位向上部(DAW)、国際女性調査訓練研修所(INSTRAW)、ジェンダー問題と女性の地位向上に関する事務総長特別顧問室(OSAGI)、国連女性開発基金(UNIFEM)を統合したものとなる。

任命を発表するにあたり、潘事務総長はこう語った。「UN Women は、世界中の女性と女児の利益を促進するための組織である。バチエレ氏はこの極めて重要なポストに、ダイナミックでグローバルな指導力という実績と、磨き抜かれた政治手腕、そして官民を問わず、国連機関や民間業界の多くのパートナーとの間に総意と焦点を生み出すという類まれな能力をもって臨むことだろう。彼女の強力な指導力の下、世界中の何百万人も女性や女児の生活が改善されるものと確信している。」



チリ初の女性大統領を務めたバチエレ氏は、在任期間中は女性問題を最優先事項とし、任期終了後はユニフェムとともに、今年1月に壊滅的な地震に見舞われたハイチの女性のニーズに応える取り組みを続け、他の2候補を抑えて選出された。

新機関の年間最低予算額は、統合される4組織の現予算総額の2倍にあたる5億ドルとされている。

「(本格始動まで)3か月半余りしかない。この日曜日に彼女を正式に指名するが、その際、スタッフの任命や採用、事業計画の決定をすみやかに行う方法を話し合う予定だ。基本的にそのための体制は全て整っているため、今はこの体制と政策とビジョンをいかに迅速に実施に移せるかが課題だ。全加盟国、市民社会のリーダー、政府、経済界の各方面に、全面的な支援と協力を求めたい。」と潘事務総長は述べた。

今回の発表は、7月2日の国連総会で、ジェンダー平等に焦点を当てる4つの機関を統合したダイナミックな新機関の設立が満場一致で採択されたことを受けたものである。

お問い合わせ先:

UN Women 日本事務所

所長代行 ステイヌン・グッドヨンスドッテ

電話番号: 072-223-0009

E-Mail: info.unifemjapan@unwomen.org

(担当: 大山)

関連リンク: www.unwomen.org